

令和8年4月から本格実施される『こども誰でも通園制度(乳児等通園支援事業)』について、今後の方向性についてご意見をいただくもの

## 1. 制度概要

「こども誰でも通園制度」は、保護者が働いている・いないにかかわらず、どのこどもでも保育園などに通える新しい制度

→令和8年度から全市区町村において実施を予定

	こども誰でも通園制度	一時預かり事業
対象者	保育園等に通っていない、0歳6か月～満3歳未満のこども	就労等により家庭での保育が一時的に困難となった就学前のこども
利用時間・上限	こども一人当たり月10時間	・就労の場合 月15日 ・リフレッシュの場合 月2日
実施可能施設	保育園、幼稚園、認定こども園等の教育・保育施設や市条例の認可基準を満たす施設	保育園、幼稚園、認定こども園、地域子育て支援拠点又は駅周辺等利便性の高い場所
目的	全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備する	子育て支援や共働き世帯の支援

こどもの育ちを応援する制度

保護者の立場からの必要性に対応

### ・実際の運用上の類型

市川市乳児等通園支援業の設備及び運営に関する基準を定める条例等より

#### 一般型

- ・既存保育施設等の定員とは別に、事業専用の定員を設け受け入れるもの。
- ・保育園等と同等の施設基準・職員配置が必要(職員2人以上)

#### 【留意点】

- ・保育園の定員に左右されず運営が可能
- ・新たな専従職員の確保が必要

#### 余裕活用型

- ・既存保育施設等で利用児童数が定員に満たない場合に受け入れる。
- ・保育施設等の認可基準を満たしていれば、新たな職員配置等は不要

#### 【留意点】

- ・現行運営体制で実施可能
- ・通常保育利用者で定員が埋まってしまふと利用できなくなってしまう

#### こども一人当たり運営費単価(一般型・余裕活用型共通)

0歳児	1時間	1,300円
1歳児	1時間	1,100円
2歳児	1時間	900円

## 2. 試行的事業の実施状況・施設アンケート結果

### ・試行的事業の実施

→令和6年7月より、公立保育園3園(平田・曾谷・行徳 各園定員6名)にて実施。

延べ利用児童数	
R6年7月	47
8月	39
9月	46
10月	60
11月	68
12月	82
R7年1月	84
2月	101
3月	123
合計	650

#### ○ 保護者の声

- ・施設で覚えた色々な遊びをするようになった
- ・こどもが新しいことに取り組む機会が増えた
- ・予約の手続きが負担・煩雑
- ・利用可能時間が短い(月10時間)

#### ○ 現場保育士の声

- ・保護者に寄り添いながらこどもの成長を伝えることで、保護者自身の表情も変わってきたのを感じ、保護者支援としても大きな意味を持つと感じている。
- ・給食やおやつを提供により他児と一緒に食べることで保護者への助言に繋がった

### 利用状況 詳細(R6)

利用登録者数: **115名**

1日平均利用時間: **3.5時間**

1日の利用者数(1施設): **約2人**

利用者自宅と園との距離: 1キロ以内が **57%**

利用者は増加傾向を続けているものの、まだ公立3施設において利用希望が定員を大きく超える状況にはない。

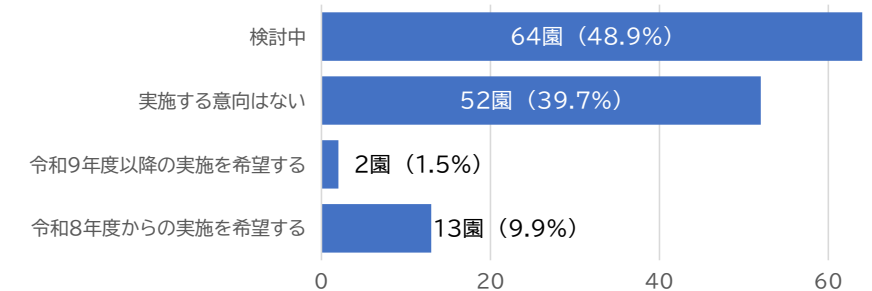
## 3. 施設向けアンケートの実施結果

令和7年6月末に市内認可施設を対象として、実施意向に関するアンケート調査を実施

### 施設種別回答数

認可保育園	70
私立幼稚園	15
認定こども園	7
小規模保育事業所	39

### Q 現時点で「こども誰でも通園制度」の実施意向はあるか



### 各施設からの自由意見

#### 実施を希望する園

- ・月10時間は短いので、毎回慣らし保育になってしまう懸念
- ・月10時間以上の受入も検討してほしい
- ・職員の負担がどの程度になるのか不安
- ・多くの方に知っていただき、子育てを楽しみながら便利に利用していただけるとよいと感じている

#### 実施する意向はない・検討中の園

- ・事業に従事する職員(保育士・事務職員)の確保が困難
- ・現行の運営費単価では、運営はできない
- ・国基準に準じ市川市独自の裁量や方針はない、ということであれば事業者側としては手を出しづらい
- ・市川市の基本的な考え方・詳細な内容が提示されていないので、検討する材料が乏しい。